

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和32年4月	
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・規程等 医療法 備前市国民健康保険病院条例
	中項目	基本施策	02	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目	施策	07	病院事業	
事務事業名		02	備前病院診療事業		問 合 先 職・氏名 次長 森中 信行 電話 64-3385

事業の実施		対象 (誰・何に対して)	病気を抱えている人、健康に不安のある人、けが、外傷を受けた人、急患
目的 (何のために)		地域の中核的な病院として、高度医療を担い、住民のニーズに配慮した医療機関として診療部門を充実するとともに、公的病院としての役割も果たしていく。住民の安心のために救急医療にも努めていく。	
行政活動 (どのような方法で)		医療スタッフの充実と能力の向上を図りながら、市民が安心して安全な医療を受けられる環境を整える。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)		安心して安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し患者数の増加を図り、経営基盤の強化をめざす。	

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	入院患者数	人		29,223	27,390	23,740
	外来患者数	人		55,576	53,485	48,348

実績	事業費		千円	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	必要人員	人件費		99.40人	705,783	96.93人
	事業費	費計		1,349,109	1,286,731	1,252,243
財源	国	支出金				
	受	益者負担金				
	総	入金	千円	44113	25300	20514
	市	債				
	その他(その他収益的収入)			1304996	1261431	1231729
	一	般財源		0	0	0
	受	益者負担比率	%			

結果指標①	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	入院患者延数	結果指標	量	29,223	27,390	23,740
	対	前年	%	93.7%	86.7%	
	活	動	円	788,826,185	772,642,000	702,412,721
	単	位	円	26,993	28,209	29,588
結果指標②	外来患者延数	結果指標	量	55,576	53,485	48,348
	対	前年	%	96.2%	90.4%	
	活	動	円	474,269,019	473,855,000	407,156,656
	単	位	円	8,534	8,860	8,421

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)	85	85	78	85
病床利用率(%)	実績値(B)	80.1	74.8	65.0	到達目標年度
	達成率(B/A)	94.2%	88.0%	83.3%	24年度

成果指標設定の考え方・式や説明
 安定した病院経営を維持するためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果指標として選択し、目標数値を設定。
 ◆病床利用率(%) = 入院患者延数 ÷ 診療日数(365日又は366日) ÷ ベッド数

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性の評価		妥当性評価<A~E>	C
市の関与の 妥当性 必要性	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 診療業務自体は民間病院と重なる部分が多いので、公立病院でなければできない業務を確立する必要がある。たとえば、救急医療、近辺にない診療科の設置等。		
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明			
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>		
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識		
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>		
	市民参画度		判定理由・課題認識 目標達成は施設建替え達成後になりそうだが、外科医引き上げの影響がうすらいたとはいえ、患者増につながる手立てを模索している状態である。今後の公立病院としての在り方、市立3病院の連携等により有効性、妥当性は変わりうる。		

平成21年度の状況									
目標値	結果指標量①	入院患者数=78人	結果指標量②	外来患者数=180人	成果指標量				
状況	拡充		現状継続		見直し	○	縮小		整理統合
説明	前年度に続き外科医不在の状態が続き、施設老朽化の影響で入院患者は伸び悩みそうであるが、病院機能評価取得の効果を期待して、前年度から10人以上の増加を目指したい。								

総合評価		評価区分<A~E>	C
病院建替えが23年度に完成すれば入院患者増が見込まれるが、今年度は前年度に続き厳しい経営となりそうである。しかし、赤字の削減をめざし職員の奮起を期待したい。将来にわたって安定経営を続け、市民のニーズに答えられる経営形態を目指して、市立3病院で早急な検討、協議が必要である。			

平成22年度以降の方向性・内容									
方向性	拡充		現状継続		見直し	○	縮小		整理統合
説明	備前市立3病院の経営形態を見直す必要があり、検討していく。								
改善がある場合	評価の視点	改善内容			改善時期	改善により期待される効果			
	効率性	市立3病院が将来にわたって健全経営を維持するため、経営形態を検討する。			3・4年後	3病院が統一した意思のもとに動き、市民のニーズに答え、安定経営を続けられる病院事業となる。			